

北海道オプション（道庁座標変換）をご使用のお客様へ

2011/12/26

北海道オプション（道庁座標変換）におきまして、設計山原点指定による道庁座標変換において、相互変換時に数十ミリの誤差を生じていることが確認されました。

本件に関しまして、弊社品質評価部門、及び開発担当が開発当時に採用した資料等と、プログラムの処理を調査しました結果、設計山及び樽前山を選択した場合の計算式に誤りがあり、数十ミリの変換誤差を生んでいることを確認致しました。

この度の調査結果をご案内いたしますので、ご一読くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

<調査結果報告>

1. 道庁座標と公共座標の相互変換の整合調査

道庁座標変換の変換式においては、設計山及び樽前山を選択した場合、昭和 24 年測量法制定以前に使用されていた球面直角座標系の計算式を適用いたします。

道庁座標系に関する資料を調査した結果、当時の計算方法が手計算でミリメートル程度の精度が得られる計算式となっており、相互変換を行っても値が戻らない式が正しいことを確認しました。

したがって、新・旧座標の相互変換を行った場合には座標値は等しくならないのが適当となります。

これは当時採用されておりました式に基づく見解となります。

2. Wingneo 及び INFINITY のプログラムソース妥当性の調査

プログラムソースの調査を行いました結果、弊社製品の経緯度変換の計算過程において、係数考慮に漏れがあり、相互変換時に数十ミリ誤差を生じる原因となっている事を確認しました。

本結果に基づき、プログラムに係数考慮を反映させ、道庁座標変換がミリ程度の相違となる計算精度向上修正を、保守対象バージョンである Wingneo Ver6.20/7.20、INFINITY に対し行わせていただきました。

この度は当該製品オプションをご利用のお客様へ多大なご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

今後はより一層安定した製品供給、並びにサポートサービスの充実に努める所存でございます。

今後も製品及びサービスに関する情報をご案内してまいりますので、定期的な@tmsPark のご確認をお願い申し上げます。

アイサンテクノロジー株式会社
SS 事業部 SS 推進課